

1 寺山公園

桜島や蛤良カルデラ（錦江湾奥部）を観察できるビュースポット。桜島の北西斜面に発達する火山麓扇状地も観察できる。



2 原五社神社

上之原（吉野町）は安永噴火で黒神村の人々が移住してきた地域。この神社は、黒神の腹五社神社を勧請したと言われる。石碑に当時の苦労が分かる碑文が刻まれている。



3 仙巖園

島津家別邸。桜島を借景とする日本庭園が特徴。桜島が鹿児島の人々へ与えた精神的影響を感じることができる。ここにある近代化産業遺産の反射炉や発電所跡などは、溶結凝灰岩という火山噴出物を使用。



4 石橋記念公園

江戸末期に岩永三五郎によって架けられた「甲突川の五石橋」の記念公園。流失した2橋を除く3橋を移設復元。歴史や架橋技術等の展示も有。鹿児島にある様々な時代の溶結凝灰岩（火山噴出物）が石材に。



5 城山

展望所は、桜島を観察することができるビュースポットで、桜島の代表的な風景といえば、当展望所からの眺めが最も有名。また、シラス台地をそのまま城として利用した全国的に珍しい事例である。



6 市電軌道敷緑化

ヒートアイランド現象の緩和や緑ある環境を創る市電軌道敷緑化（総延長8.9km、約35,000㎡の芝生緑地）。基盤にはシラスを特殊な方法で固めたブロックを採用。火山噴出物を上手に活用。



7 桜島ビジターセンター

桜島の噴火の歴史や植生遷移などを紹介する施設。200インチのハイビジョンシアターでは桜島の紹介ビデオを上映。桜島観光案内も行っている。ジオパークの拠点施設。



8 月読神社

月読神社は大正溶岩で埋もれてしまったが、昭和15年に現在地に再建された。桜島の中では最大の神社。桜島の神社は山に向かって建てられていることが多く、山を神様として崇めていたことが分かる。



9 溶岩なぎさ遊歩道

全長3Kmの溶岩遊歩道。大正溶岩と植生を観察できる。海岸付近から海底では地下水の湧水があり、一部は汽水域（淡水・海水混在区域）。絶滅危惧種ハクセンシオマネキが生息。句碑や文学碑も。



10 鳥島展望所

かつて海の上にあった小島である鳥島が大正溶岩によって埋め尽くされた場所。周りの大正溶岩を観察するのに絶好のポイント。何もない溶岩の上に植物が自然に生きてきたストーリーも体感できる。



GEO MAP

地球が遊び場、地球が学び場！ ここから世界とつながろう！



ジオモデルコース

桜島フェリーターミナル
桜島港

▼ 徒歩10分

7 桜島
ビジターセンター
(地形・地質)

▼ 徒歩1分

溶岩なぎさ遊歩道
(海とのつながり)

▼ 徒歩1分

溶岩なぎさ公園足湯

▼ 車5分

10 鳥島展望所
(自然とのつながり)

▼ 車15分

湯之平展望所
(地形・地質)

▼ 車15分

桜島フェリーターミナル
桜島港

※移動時間は目安です。

11 湯之平展望所

火山の山肌の様子が最もよく分かる場所。浸食による谷地形や流れ出した土石流によってできた扇状地やそこに残る考古遺跡など、数々のエピソードが隠されている。桜島唯一のビュースポット。



12 桜島小みかんの畑

扇状地で水はけがよく、おいしい柑橘類が育つ。桜島小みかんは土石流によって形成された火山麓扇状地の恵み。



13 桜島大根の畑

世界一大きい大根としてギネスブックに登録されている桜島大根の畑。記録は31.1kg。軽石まじりの荒れ地のような土が特徴的だ。火山噴出物である軽石と農業のつながりが感じられる場所。



14 たぎり（火山性熱水噴気活動）

若尊カルデラからの火山ガスが海面に現れている貴重な場所。地元漁師は「たぎり」と呼ぶ。海底火山を実感できる。サツマハオリムシ生息地、熱水噴出孔、レアメタル、酸性水塊の海等も特徴的。



15 新島（しんじま）

安永噴火（江戸時代）により海底が隆起してできた島。周辺の島々は溶岩が直接出てきたもの。新島には約5000年前（縄文時代）の貝化石層もあり、手で触れることもできる。



16 黒神ビュースポット

黒神ビュースポット（昭和溶岩地帯展望所）は、遺跡の上に作られた展望スペース。昭和溶岩や昭和火口の観察に最も適しているビュースポット。砂防施設も見ることができる。



17 黒神埋没鳥居

大正噴火によって約2m埋没した鳥居。噴火の凄さを体感できる場所である。奥には社殿があり、周辺の森は桜島で最も古い森。大正噴火で2m埋もれたが、その後復活したシイの木の生息は非常に面白い。



18 桜島口

大正溶岩によって陸続きになった場所。大正溶岩と大隅半島では植生が全く違うことが分かる。溶岩で埋もれた瀬戸の集落は、幕末に日本で最初の本格的な西洋式の軍艦「昇平丸」が建造された場所。



19 有村溶岩展望所

大正溶岩、昭和溶岩が観察できるビュースポット。両者の植生の違いが観察できる。そのほか、咲花平の溶岩ドームや、シラス台地も観察できる。



20 東桜島小学校・ 桜島火山爆発記念碑

大正噴火の前兆現象と災害の様子、噴火への備えが刻まれた石碑。「住民は理論に信頼せず」のフレーズが有名。科学不信の碑とも言われる。



火山と海の大冒険!!



SAKURAJIMA-KINKOWAN
GEO PARK

桜島・錦江湾ジオパーク「ファーストガイド」



A young child with dark hair and a blue shirt is smiling at the camera. They are holding a large white plate in front of them, which contains a cooked, round flatbread or pizza. The flatbread is topped with melted cheese, green herbs, and small pieces of meat or vegetables. The background is slightly out of focus, showing some outdoor elements like a rock and a small fire.

ジオパークについて学んだり、考えたり、体験することができる
イベントを実施します。
開催日程等はHPやチラシ等で告知します。

ジオパークは、みんなでアイデアを出し合って、
様々なおもしろいプロジェクトをカタチにしていきます。
参加して一緒に創り上げていきましょう。

● 道路電車
 カゴシマテレビビル-善行路線
 筑山-磯子コース
 ……ウォーターフロントコース

桜島フェリー時刻表

※運転手一人の
運賃を含みます。

【鹿児島港発】		【桜島港発】		車両の種類		運賃 (円)
時間	出港時間	時間	出港時間			
0	30	0	00	3	米未渡	820
1	30	1	00	3	3m以上4m未渡	1,070
2	30	2	00	4	4m以上5m未渡	1,480
3	30	3	00	5	5m以上6m未渡	1,830
4	30	4	00	6	6m以上7m未渡	2,040
5	30 45	5	00 30	7	7m以上8m未渡	2,700
6	00 10 30 45	6	00 10 30 45	8	8m以上9m未渡	3,420
7	00 10 30 45	7	00 10 30 45	9	9m以上10m未渡	4,180
8	00 10 20 30 40 50	8	05 15 25 35 45 55	10	10m以上11m未渡	4,940
9	00 10 20 30 40 50	9	05 15 25 35 45 55	11	11m以上12m未渡	5,660
10	00 05 15 30 45	10	05 15 25 35 45	1	1層増ごとに	260
11	00 15 30 45	11	05 15 30 45	自転車		550
12	00 15 30 45	12	05 15 30 45	原付バイク/自転車		1,250 (以下)
13	00 15 30 45	13	05 15 30 45	自動車		460
14	00 10 20 30 40 50	14	05 15 25 35 45 55	自動車二輪車 (125cc未満及び750cc未満)		560
15	00 10 20 30 40 50	15	05 15 25 35 45 55	自動車二輪車 (750cc以上)		460
16	00 10 20 30 40 50	16	05 15 25 35 45 55	その他		180
17	00 10 20 30 45	17	05 15 25 35 45	旅客一般		50
18	00 15 30 45	18	05 15 30 45	大人		180
19	00 15 30	19	05 15 30	小人		80
20	15 30	20	15 30			
21	30	21	30			
22	30	22	30			
23	30	23	30			

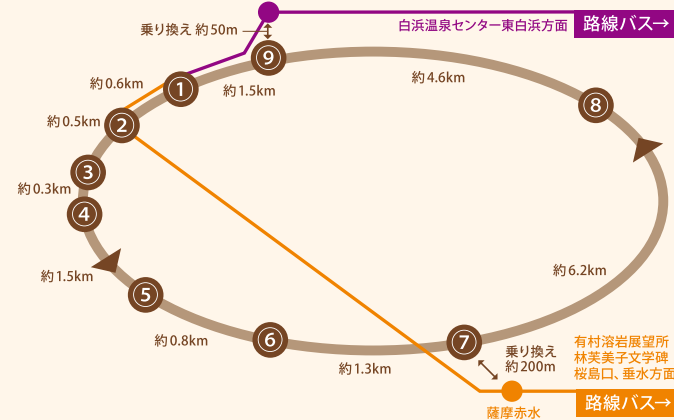
自動二輪車(750cc以上)	560
----------------	-----

サクラジマアイランドビューお問い合わせ先

A green and red bus is parked in a paved parking lot. The bus has a green upper body and a red lower body. It is facing towards the left of the frame. In the background, there are green mountains under a clear sky. A small sign is visible on the left side of the parking lot.

運 賃 (乗車区間による)	一日乗車券 (乗り降り自由)
大人・・・110～430円	大人・・・・・・・ 500円
小児・・・ 60～220円	小児・・・・・・・ 250円

※湯之平展望所等で下車観光される方は一日乗車券がお得です。



※烏島展望所5分、赤水展望広場8分、湯之平展望所15分停車。下車時は運賃精算が必要です。

ババポ		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
1	桜島港 発	9:00	10:05	11:10	12:15	13:20	14:25	15:30	16:35
2	火の島めぐみ館	9:01	10:06	11:11	12:16	13:21	14:26	15:31	16:36
3	レインボウ桜島	9:02	10:07	11:12	12:17	13:22	14:27	15:32	16:37
4	ビジターセンター	9:03	10:08	11:13	12:18	13:23	14:28	15:33	16:38
5	鳥島展望所 着	9:05	10:10	11:15	12:20	13:25	14:30	15:35	16:40
6	鳥島展望所 発	9:10	10:15	11:20	12:25	13:30	14:35	15:40	16:45
7	赤水展望広場 着	9:12	10:17	11:22	12:27	13:32	14:37	15:42	16:47
8	赤水展望広場 発	9:20	10:25	11:30	12:35	13:40	14:45	15:50	16:55
9	赤水港の平口	9:23	10:28	11:33	12:38	13:43	14:48	15:53	16:58
10	湯之平展望所 着	9:35	10:40	11:45	12:50	13:55	15:00	16:05	17:10
11	湯之平展望所 発	9:50	10:55	12:00	13:05	14:10	15:15	16:20	17:25
12	桜洲小学校前	9:58	11:03	12:08	13:13	14:18	15:23	16:28	17:33
13	桜島港 着	10:00	11:05	12:10	13:15	14:20	15:25	16:30	17:35

サクラジマアイランドビューお問い合わせ先

■鹿児島市交通局バス事業課 ☎ 099-257-2117
 ■鹿児島市交通局桜島営業所 ☎ 099-293-4220

1 **地形・地質との
つながり**

活発な火山活動による鹿児島県ならではのカルデラ、シラス台地、溶岩地形などが見られます。

火山灰の中、たくましく生き続ける
植物たちの生命力を感じられます。

3 海とのつながり

火山活動から生まれた錦江湾には、多種多様な生き物が生息しています。

産業との
つながり

火山地帯の土地に適した桜島大根
などの栽培や錦江湾での魚の養殖、
シラス製品や観光業が盛んです。

歴史・文化との つながり

桜島と錦江湾は鹿児島市民の心のふるさと。ここを舞台に歴史・文化が紡がれてきました。

人との
つながり

火山と人が共生する鹿児島ならではの暮らしの工夫や防災の取組が見られます。

※ジオパークとは＝ジオ（地球）に親しみ、ジオを学ぶ旅「ジオツーリズム」を楽しむ場所がジオパークです。地面の下にある岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、山や海や地質などの自然に関する知識をみんなで共有し、生態系や人の生活との関わりを考える場です。

活火山と共生する60万都市

錦江湾
 ●火山活動が生み出した深く豊かな海
 ●多様な生物が育まれる
 （イルカの生息地など）

マグマだまり

桜島の噴火

桜島は現在も活動をしている活火山で、北岳・南岳の2つの火山体によって形成されている複合火山です。鹿児島市の沖合4kmにあり、もともとは島でしたが、大正3年(1914年)の爆発により溶岩が流出し、大隅半島と陸続きになりました。活火山の島ですが、約5,000人が、火山と共生して生活しています。

- 人口 約5,000人
- 周囲 約55 km
- 標高：北岳・標高 1,117m
- 南岳・標高 1,040m

桜島の歴史は噴火の歴史とも言われ、これまでに大規模な噴火を17回も繰り返しています。桜島の活動は、大きく2つの時期に分かれています。誕生から約5,000年前までが北岳の活動、4,500年前から現在までが南岳の活動です。北岳と南岳という2つの火山が南北に連なっているため桜島は横長に見えるのです。その歴史の中で最大の噴火は、今から約13,000年前の大噴火です。そのときの噴火では、鹿児島市内で1m以上、鹿児島県内のほぼ全域に10cm以上の火山灰が降り積みました。また、大正3年(1914年)には、流れ出した溶岩により、これまで海峡を隔てていた大隅半島と陸続きになるなど、島の形状を変えてしまうほどの大規模な噴火が起きました。現在に残る黒神埋没島屋や鳥島展望所などでは、当時の噴火の凄まじさを体感することができます。